

価格
~15日)
(円/60kg)

産公格	増減額
99	▲2,628
35	▲1,840
65	▲2,540
74	▲1,740
74	▲2,073

10月前半 需給緩み取引低調
米の卸売会社や集荷業者が会員となり、業者間で米を売買取引する日本コメ市場は26日まで、10月前半(1~15日)の取引結果をまとめた。10月から2010年産新米価格の公表になった。公表された5銘柄の価格は、09年産に比べ60キロで2600円から1600円安い価格で取引されている。

米の過剰感が強いにもかかわらず、同市場は「新米になっても取引は盛り上がり、価格は下落傾向」と、低調な取引となっている。同市場は、約2000社が会員で、半月に60キロ以上成約のあった産地銘柄を公表している。昨年11月から半月ごとの取引結果の発表を始めている。全体の取引数量は明らかに少ない。今回発表

対%)

9.4	0.5	8.9	3.7	0.7	136	100	9.2	1.8	9.8	9.6	9.1	9.1	9.2	8.7	8.3	3.1	7.4
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

10年間予 外食産業が苦戦 節約志向続き0.6%減
調査会社の富士経済は、外食産業の市場動向について調査結果をまとめた。2010年の市場規模は、前年比0.6%減の32兆3542億円になると予測した。景気低迷から消費者の節約志向が続く、客単価が下がるなど、全体として苦戦が続く。14分野130の外食市場を4~7月にかけて調べた。10年に市場が拡大するのは、割安感や手軽さから、ファストフー

沖縄県のJAおきなわは、首都圏で地域認証銘柄牛「石垣牛」の販売に本腰を入れ始めた。食肉卸のミートコンパニオン(東京都立川市)と連携し、今月から埼玉県和光市にある食肉処理施設まで生体で運んで、と畜・出荷する仕組みを新たに確立した。同社への出荷は月間6頭程度を見込んでおり、大消費地・首都圏で市場評価をアップ、高値販売を期待している。JAは「消費動向を見極めながら徐々に頭数を増やし、知名度を上げたい」と意気込んでいる。

J Aおきなわ

石垣牛 首都圏へ

2008年に特許庁から地域団体商標を受けたこだわり牛だ。JAによると近年、もと牛価格の低迷を受けて子牛を自家保留し、肥育まで手掛ける一貫経営の農家が増え、肉

用肥育は増頭傾向だという。これまで、観光客向けに地元で販売するケースがほとんどで、500頭分の消費が限界だった。今年度は、700頭出荷する

を計画で、沖縄県内のほか首都圏に販路を広げる計画だ。現在、首都圏に販売網を持つ東京都内のスーパーが販売を決めたほか、「おきなわ和牛」を扱う鉄板焼き店などが関心

用肥育は増頭傾向だという。これまで、観光客向けに地元で販売するケースがほとんどで、500頭分の消費が限界だった。今年度は、700頭出荷する

を計画で、沖縄県内のほか首都圏に販路を広げる計画だ。現在、首都圏に販売網を持つ東京都内のスーパーが販売を決めたほか、「おきなわ和牛」を扱う鉄板焼き店などが関心

銘柄売り込み

通、消費が一体となるアグリフードチェーンを構築しなくてはならない」と強調する。差別化前面に 同社は今月、埼玉県で開いた「第4回おきなわ和牛展示即売会」で初めて「石垣牛」6頭を販売。枝肉価格は「おきなわ和牛」と比べ1キロ当たり3000円高く取引された。このうちの2頭を購入した食肉卸のニイタク(東京都江東区)は「全国の銘柄牛を取り扱っているという宣伝になる。特色ある和牛を求める精肉店や焼き肉店などのニーズに応えられる」と話す。

和歌 包括 コンビ のファミ 日、和歌 同県産オ 開発・販 の発信・ などにつ 携協定を た。同日 材を使っ 品を売る 要を取り 「焼き の不況で く。09年 不採算店 の苦戦で も前年同 見込みが イタミ ミリール 消費者の えて、市 一集でも んだ「宅 が続きそ 中国、 3本社 イオン